

NPO 法人 KOALA

2012年4月設立 会員 26名
会費 3,000円(学生2,000円 法人10,000円)

過度に自動車交通に依存した都市構想を「人と環境にやさしい公共交通」を基軸とする社会に転換させることを目的に2007年3月に任意団体として設立し、2012年4月にNPO法人化し、関西を中心に活動を継続させている。

会員は、弁護士、学識、会社員、一般市民など関西を中心に多様なメンバーが集結している。当初、京都へのLRT導入を目的に会を発足させた経緯もあり、宇都宮ライトレールの開業には深い関心を寄せ全国他都市への波及方策を論じている。

最近では、大阪市交通局の民営化問題に関わり行政関係者への提案を行ったが、現在は以下の課題に注力しながら活動を行っている。

1. 地域公共交通（地方、都市部）の危機に関して、関連団体と連携し情報発信と問題提起を行う。
2. 次世代公共交通システムの提案を行うため、オンデマンド交通、自動運転、EV、自動運転など新技術の勉強会、見学等を通じて情報収集を行い、各種提言に結び付ける。
3. ホームページやフェイスブックを充実し情報発信を強化する。

NPO 法人 RACDA大阪・堺

2009年設立 2011年7月法人認証
会員数 20人 会費 3,000円

2009年、当時堺市で進んでいたLRTプロジェクトに市民の声を反映させたいとして有志が集まり発足しました。ところが、LRTプロジェクトの中止により廃線の危機に直面することとなった阪堺線堺市内区間の存続活動に活動方針を変更、「阪堺線存続検討ワーキンググループ」として活動を活発化しました。2011年岡山ラクダの岡さんの助言も受け、名称を現在のRACDA大阪・堺としています。

2012年の第11回全国路面電車サミットのホストも務めました。以降、堺市や未来につなごう堺チン電の会と協力し、イベントの開催や阪堺線をはじめとする公共交通に関する啓発など、阪堺線や沿線の活性化に取り組んでいます。また、阪堺沿線案内図の作成・配架や「すみ博」(住吉区のイベント)への協力を行っています。まちづくりや公共交通改善に取り組む他団体との連携・協働も推進しています。

代表者 福井隆一郎

堺市堺区九間町東1丁1-10

<https://racda-osaka-sakai.org>

メール racda.os123@gmail.com



恒例のRACDA大阪・堺主催イベント「堺ちん電フェスティバル」でのミニSLトレイン運転